



堺市建築物の総合環境配慮制度

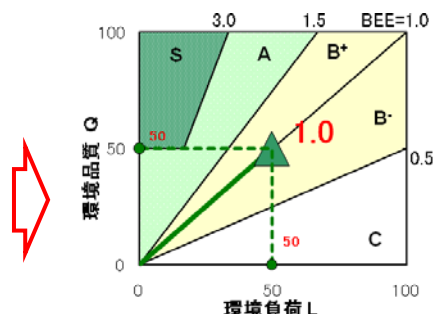
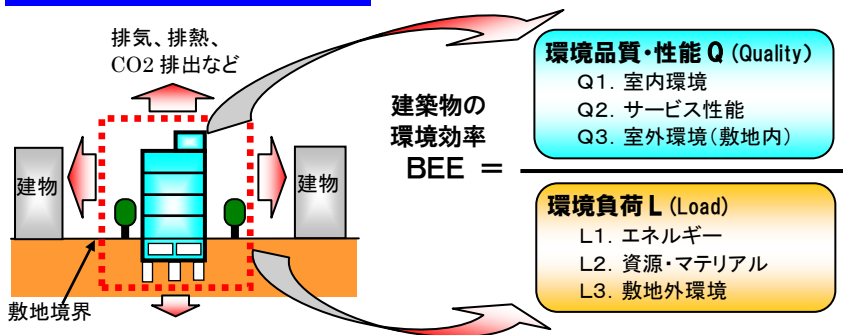
建築環境賞



平成24年度から「CASBEE 堺※ 建築環境賞」として、環境配慮に優れた建築物の建築主等を表彰します。この表彰は、環境配慮型建築物の普及促進と、低炭素都市「クールシティ・堺」の実現に寄与する意識の高揚を図ることを目的としています。

※延べ面積が2,000㎡以上の新築などを行う場合には届出の義務があります。

CASBEE評価の仕組み



ランク	評価	BEE値ほか	ランク表示
S	素晴らしい	3.0以上かつQ=50以上	赤★★★★★
A	大変良い	1.5以上3.0未満	赤★★★★
B ⁺	良い	1.0以上1.5未満	赤★★★
B ⁻	やや劣る	0.5以上1.0未満	赤★★
C	劣る	0.5未満	赤★

より良い環境品質・性能(Q)の建築物を、より少ない環境負荷(L)で実現しているかを評価します。

詳しくは、(財)建築環境・省エネルギー機構のホームページ(<http://www.ibec.or.jp/>)をご覧ください。

選考対象建築物

CASBEE 堺の届出建築物で、次の全てに該当するものです。

- ・環境配慮への取組みが優れている建築物
- ・建築基準法に定める検査済証が交付された建築物
- ・表彰の前年に工事完了届出書が受理された建築物
(平成27年度は、平成27年12月28日までに受理されたもの)

賞の種類

建築主及び設計者に、次の賞を授与します。

(各賞において相応しいものがない時は、「該当なし」とします)

- ・堺市長賞：特に優秀なもの
- ・優秀賞
- ・奨励賞

選考方法

CASBEE 評価がAランク以上で

- ・BEE値
- ・堺市の重点項目シート
- ・特筆する取組内容

について完成した年ごとに選定。

(現地確認を行った上で決定します)

問合せ先

堺市 建築都市局 開発調整部 建築安全課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号(堺市役所 高層館13階)

TEL 072-228-7936 FAX 072-228-7854

建築安全課ホームページ

<http://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/jutaku/kenchiku/shidou/kenchiku/index.html>

行政資料番号 1-J4-15-0310

CASBEE堺

【平成28年2月 発行】

第4回

建築環境賞

受賞建築物の概要

堺市長賞

ペルランド総合病院

建築主	社会医療法人 生長会	
設計者	清水建設株式会社 関西支店一級建築士事務所	
延べ面積等	42,915.47㎡(RC造 地上10階地下2階)	
CASBEE評価	Sランク (BEE値 3.3)	
堺市の 重点項目 シート	CO ₂ 削減	桜4個
	省エネ対策	桜4個
	みどり・ヒートアイランド対策	桜5個
	安全快適な暮らし	桜4個



「笑顔が生まれる環境を整える」をコンセプトとし、24時間365日対応の救急医療を担う地域に根差した施設である。直接日射を遮蔽する全周バルコニーや全病室にペアガラス（一部LOW-E）を採用すると共に、ペルの森からの冷涼な空気を外気として導入する事による空調熱源負荷の低減や井戸水利用、トップライトによる昼光利用およびガスコージェネレーションシステムの導入・大温度差送水に加え、高効率ガス焚冷温水機採用やインバーター制御による外気導入量削減等、数々の省エネ高効率機器を採用しBEMS制御による省エネルギー環境負荷低減を図っている。また、建物外構の植栽に加え屋上緑化・来客用駐車場についても緑化を行い、周辺地域への良好な温熱環境づくりがなされている。

堺市長賞

シマノ本社工場

建築主	株式会社シマノ	
設計者	芦原太郎建築事務所	
延べ面積等	49,591.78㎡(RC造 地上5階地下1階)	
CASBEE評価	Sランク (BEE値 3.0)	
堺市の 重点項目 シート	CO ₂ 削減	桜3個
	省エネ対策	桜4個
	みどり・ヒートアイランド対策	桜5個
	安全快適な暮らし	桜5個



創業の地である堺にフラッグシップを生産するマザーファクトリーとしての工場棟、製造技術にかかわる情報を集約する事務棟、チームメンバーへ憩いの場を提供する厚生棟の3つからなる施設である。高効率空調設備の導入に加え建物外皮の高気密高断熱化や、緑化・灌水による気化熱を利用した外気導入により免震層の地中熱を利用した空調負荷低減、エコボイドを利用した自然換気および太陽光追尾集光装置やトップライトによる建物内への自然採光、LED照明の採用、タブレットを利用したエネルギーの見える化および独自の体感温度制御システム等、数々の環境負荷低減による省エネが図られている。また、可能な限り緑化し一部に公開空地を設ける等、周辺温熱環境負荷の低減にも寄与している。